

- 問1 5世紀頃、ヤマト政権の王が中国の南朝へ使いを送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 中国の進んだ律令制度を学び、仏教を公認することで、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため

2. 白村江の戦いで敗れた後、唐との国交を回復し、大陸の最新文化や技術を積極的に導入するため

3. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため

4. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かり、国内の豪族に対して自らの正当性を示すため
- 問2 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)

1. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。

2. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。

3. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。

4. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。
- 問3 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)

1. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと

2. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと

3. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと

4. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと
- 問4 埼玉県の稲荷山古墳から見つかった「ワカタケル大王」の銘文がある鉄剣と、熊本県の江田船山古墳から見つかった同様の銘文がある鉄刀は、5世紀後半の日本列島の政治状況についてどのようなことを物語っていますか。最も適切な説明を選んでください。 (2016年 三重県公立入試 類似)

1. 関東地方と九州地方の有力な豪族が連合し、近畿地方のヤマト政権と対立していたこと

2. ヤマト政権の政治的な影響力が、九州から関東地方に及ぶほど広範囲に拡大していたこと

3. 大陸との交易はすべて関東地方の豪族が独占しており、鉄器の製造技術を独占していたこと

4. 日本列島は各地の豪族によって完全に分割統治されており、中央集権的な組織は存在しなかったこと
- 問5 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 東北地方から九州地方まで、各地域の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。

2. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。

3. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。

4. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。
- 問6 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 遣隋使

2. 渡来人

3. 防人

4. 地頭
- 問7 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)

1. 「日出処天子」と記された国書

2. 勘合貿易で用いられた割符

3. 「親魏倭王」と刻まれた金印

4. 「漢委奴国王」と刻まれた金印
- 問8 大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)

1. 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国を完全に服従させ、争いを根絶した。

2. 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。

3. 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。

4. 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。
- 問9 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 防人

2. 遣隋使

3. 渡来人

4. 御家人
- 問10 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)

1. 卑弥呼

2. 聖徳太子

3. ワカタケル大王

4. 中大兄皇子
- 問11 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。

2. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。

3. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。

4. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。
- 問12 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト政権（ヤマト王権）の支配者の呼び名が刻まれています。この鉄剣の銘文に見られる、当時の最高権力者の称号として正しいものを選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)

1. 皇帝

2. 関白

3. 天皇

4. 大王
- 問13 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

1. 遣隋使

2. ヤマトの大王

3. 渡来人

4. 倭の五王
- 問14 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

1. 唐 ―― 吐蕃・新羅

2. 魏 ―― 呉・蜀

3. 隋 ―― 陳・北周

4. 秦 ―― 楚・斉